

B109	現代史概論 ナチズムを中心に		
英名科目名	Introduction to Modern History: focus on National Socialism		
大学名	京都大学		
連絡先	国際高等教育院棟 1階 全学共通科目学生窓口 TEL:075-753-6511		
担当教員	人文科学研究所 准教授 藤原 辰史		
開講期間	2021年10月05日(火)～2022年01月18日(火) 2講時 10時30分～12時00分(毎週火曜日) 授業休止日：2021年11月19日(金)、11月22日(月)01月14日(金) 冬季休業：2021年12月29日(水)～2022年01月03日(月) 休講等による振替授業可能日：2022年01月04日(火)、20日(木) 試験期間：2022年01月25日(火)～01月31日(月) フィードバック期間：2022年02月01日(火)～02月07日(月)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	火曜日 2講時
単位数	2	履修年次	全回生
会場	吉田キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	学期末のレポート		
超過時の選考方法			
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>授業外学習(予習・復習)等：講義中に勧めた本を読む。</p> <p>履修要件：特になし</p> <p>授業教室：京都大学吉田キャンパス・吉田南構内・4号館・4共30</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況次第では、非対面授業に切り替わる場合もあります。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>講義概要： まず、現代史の捉え方を受講生とともに考える。時代区分、ジャンルなどさまざまな視角から現代史に光をあてる。 そのあと、現代史の問題をナチズムを中心に考える。第一次世界大戦を起点として始まる「現代」は、ドイツにおけるナチズムの歴史のなかで、その矛盾を爆発させたといえる。大衆操作、大量殺戮、生の管理、など、ナチズムを特徴付ける諸現象は、まさに現代の典型的な諸現象である。つまり、ナチズムをみつめることは、現代史の深層をみつめることであり、いま、私たちが生きている時代をみつめることでもある。</p> <p>到達目標： ・現代史について考える枠組みを構築する。 ・現代史の大まかな流れを知る。 ・ナチズムについて基本的な事実を知る。</p>			
講義スケジュール			
<p>1 「現代」とはなにか 2 現代史の概観 3 第一次世界大戦：飢え 4 第一次世界大戦：民衆 5 ナチズのかたち 6 ヒトラーについて 7 ゲッベルスについて</p>			

8 ナチスの収穫感謝祭	
9 ナチスの文化：絵画を中心に	
10 台所からみたナチス	
11 食と農からみたナチス	
12 暴力の問題	
13 アウシュヴィッツ	
14 まとめ：ナチズムとは、現代とは	
受講生の関心に応じて、変更の可能性あり。 フィードバック方法は別途連絡します。	
教科書	授業中に指示する
参考書	エリック・ホブズボーム『20世紀の歴史 上下』(ちくま学芸文庫) 木畑洋一『20世紀の歴史』(岩波書店) ISBN:978-4004314998